

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月29日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902710		
法人名	株式会社 アイエスティサービス		
事業所名	一条ハイツ		
所在地	北海道旭川市1条通6丁目83番地 (電話) 0166-26-2668		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年11月27日	評価確定日	平成20年12月10日

【情報提供票より】(平成20年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	13 人	常勤 3人, 非常勤 10人, 常勤換算	4.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨コンクリート 造り		
	4 階建ての	1 ~ 4 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 ~ 29,000 円	その他の経費(月額)	25,500 ~ 33,500 円
敷金	(有)(150,000 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,380 円		

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5		要支援2	1 名		
年齢	平均 82 歳	最低 71 歳	最高 97 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東郷整形外科
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

旭川市内中心部に位置し、旭川駅から徒歩2分の場所に開設され交通の利便性に優れた1ユニットのグループホームです。グループホーム連絡協議会やケア研究会などの外部研修参加の奨励で管理者、職員の段階に応じた研修の機会の確保や内部研修の充実でケアサービスの質の向上に取り組んでいます。また、積極的に戸外に出かけられるように日常的な散歩や買物、北鎮記念館や花菜里ランド訪問など季節毎に外出の機会を増やし、気晴らしや楽しみごとへの支援も行われています。理念を実践する為に、具体的な職員個々の目標を設定して日々取り組みP-D-C-Aサイクルの仕組みが有効に機能し、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる姿が印象的でした。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、認知症ケアに有効なセンター方式の導入検討について改善点が見出されていましたが、家族の協力を得ながら全ての利用者にセンター方式が採用されて、本人の過去の大事な出来事や生活歴が把握され介護計画に反映されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かした具体的な改善活動が行われ、相当な努力をされたことが伺えます。また、同業他施設の訪問やさらなるケアサービスの質の向上の為に自らの改善点を見出し、内部研修の充実も図られています。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、ほぼ2ヶ月毎に開催されています。主な議題は 身体拘束について ホーム玄関の施錠について 自己評価の内容について 外部評価の改善状況について 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 玄関入り口に苦情受付箱を設置して、苦情や意見など表せる機会を作っています。また、職員が分かりやすいように顔写真を掲示して、来訪時に日常生活の様子や不安な点など話し合いが行われています。定期的な「グループホーム新聞」の発行や個々の家族への便りでホーム行事参加の様子、健康状態など情報提供されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域的に交流が難しい面がありますが、町内会に加入や運営推進会議を通じて地域との連携に努めています。また、日本舞踊などの地元のボランティアの受け入れや同業他施設との交流を積極的に促進させています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、ホーム独自の理念を作り上げ来訪者に分かりやすいように掲示している。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は、理念を共有してその実践に日々取り組んでいる。また、理念を実践する為に、具体的な職員個々の目標を設定して日々取り組みP-D-C-Aサイクルの仕組みが有効に機能している。	○	特筆すべき点として、理念達成の為に職員個々の具体的な目標を掲げてその達成度を共有する取り組みが行われている。
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域的に交流が難しい面があるが、町内会に加入や運営推進会議を通じて地域との連携に努めている。また、日本舞踊などの地元のボランティアの受け入れや同業他施設との交流を積極的に促進させている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かした具体的な改善活動が行われ、相当な努力をされたことが伺える。また、同業他施設の訪問やさらなるケアサービスの質の向上の為に自らの改善点を見出し、内部研修の充実も図られている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、ほぼ2ヶ月毎に開催されている。委員は、家族、町内会役員、民生委員、他施設の介護支援専門員、管理者・職員で構成されている。	○	今後は、ホームの具体的取り組みに委員も参加して戴き、意見交換する機会も作られることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性について理解し、日々取り組んでいる。	○	今後は、より具体的にサービスの質の向上に繋がる連携の確保に期待します。
4. 理念を实践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的な「グループホーム新聞」の発行や個々の家族への便りでホーム行事参加の様子、健康状態など情報提供されています。また、金銭管理についても報告されています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関入り口に苦情受付箱を設置して、苦情や意見など表せる機会を作っている。また、職員が分かりやすいように顔写真を掲示して、来訪時に日常生活の様子や不安な点など話し合いが行われている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職率は低く、運営者は職員の離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム連絡協議会やケア研究会などの外部研修参加の奨励で管理者、職員の段階に応じた研修の機会の確保や内部研修の充実でケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業他施設の訪問や交流などの活動を通じて、さらなるケアサービスの質の向上の為に自らの改善点を見出し、内部研修の充実も図られている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう家族と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人と一緒に食事の準備や後片付けなどをしたり、散歩や和食などの外食を楽しみながら本人の思いや意向を尊重した支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式で、一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴を把握して、散歩や買い物、北鎮記念館や花菜里ランド訪問など季節毎に外出の支援や外食、ホーム行事参加など検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに利用者、家族の希望や医師からの助言・情報やサービス担当者会議で職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。	○	今後は、生活歴の把握、具体的な支援内容、サービスの実際とその評価などの一連の流れがさらに連結されていくことが期待されます。
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書は3ヶ月毎に定期的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。	○	特筆すべき点として、都度 記録や日誌などの様式の見直しが行われケアサービスの質の向上に努めている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院への支援や散歩、理美容院への訪問など支援されている。また、家族の宿泊にも対応されている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者を良く知る看護職員が在籍しており、適切な医療が受けられるように支援されている。また、気軽に相談できるかかりつけ医が確保されている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医師や家族とも段階的に相談しながら慎重に対応するよう職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる言葉かけや対応は行われていない。また、記録等の個人情報の取り扱いは、配慮されている。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にして、入浴の支援や散歩、ホーム行事参加、外食など本人の意向や希望に沿って支援している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、味付けや食材に工夫をしている。また、食欲も旺盛で食事の時間が楽しみの様子でした。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2回を目安に支援している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で一人ひとりの生活歴や力を活かし戸外で楽しめる北鎮記念館や花菜里ランド訪問などレクリエーションに力を入れている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩や和食などの外食、敬老会参加など戸外に出かけられるように支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、安全面で配慮する取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置され、火災避難訓練も定期的に実施されている。また、消火設備等についても点検が実施されている。	○	今後は、緊急時に日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけていくことを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや摂取カロリーについてもおおよそ把握され、水分・食事摂取量が具体的に記録されている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、旅館を改装しているが良く工夫された作りとなっている。リビングには利用者が集い、談笑したりテレビを観たり思い思いに過ごせる空間となっている。時々皆でジンギスカンなどして楽しんでいる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は12畳と広く馴染みの家具や仏壇、冷蔵庫、電話など持ち込まれ利用者が思い思いに自由に過ごせたり、趣味を活かせる場となっている。また、家族の宿泊も可能でゆっくり過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。